

## モウソウチクと食品製造副産物を混合した

## 乳牛用ペレット飼料

海外の飼料穀物価格の高騰等の影響により配合飼料価格が上昇しており、飼料自給率の向上を図るためには、タケや食品製造副産物などの低未利用飼料資源を有効に活用することが重要な課題になっています。そこで、愛媛県畜産研究センターでは、京都大学、滋賀県立大学並びに新興工機株式会社との共同研究で、消化性や栄養価の高いタケの白色腐朽菌処理ペレット飼料を開発し、その飼料特性を明らかにしましたので紹介します。

## ☆ 技術の概要

1. 白色腐朽菌で処理したモウソウチク、豆腐粕および醤油粕を5：4：1（乾物比）で混合し、成型したペレット飼料（菌処理BSP）の嗜好性は良好で、TDN含量は54.7%でした。
2. 泌乳後期のホルスタイン種雌牛4頭を用い、飼料乾物中15%のアルファルファヘイキューブ(8.7%)とビートパルプ(6.3%)を菌処理BSPで代替給与した場合のTDN含量は66%程度で、（アルファルファヘイキューブ+ビートパルプ）と同等の栄養価を示しました。
3. 泌乳最盛期のホルスタイン種雌牛4頭を用い、飼料乾物中11.3%のアルファルファヘイキューブ(4.5%)とビートパルプ(6.8%)を栄養価が同等の菌処理BSP14.6%で代替給与した場合、乾物摂取量に差がなく、乳量および乳成分に有意な差は生じませんでした。
4. 菌処理BSPの原料タケ伐採運搬費用を除く製造コストは約60円/kgで、アルファルファヘイキューブやビートパルプとほぼ同等でした。



写真1 タケの繁茂する放置林



写真2 タケペレット飼料の製造

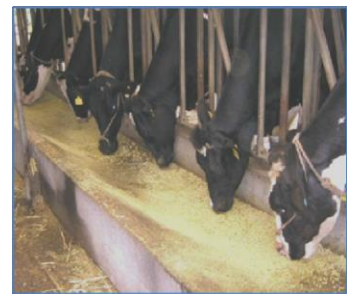


写真3 タケペレット飼料を採食する乳牛

## ☆ 活用面での留意点

菌処理BSPは高脂肪であることから、乳牛への給与にあたっては、給与飼料全体の粗脂肪含量に留意した飼料設計が必要となります。詳しくは、愛媛県畜産研究センター山形典彦（0894-72-0064）に問い合わせ下さい。

（日本政策金融公庫農林水産事業本部 テクニカルアドバイザー 加茂幹男）